

大学生のかんきょうかつどう

Q1: 2008年12月に エココンが ありましたね。このエココンには、いくつかのグループが でしたか。

Keita: 58のグループが でした。
みんな 5分間で 自分たちの かつどうを はっぴょうしました。

Q2: どんな かつどうを はっぴょうしましたか。

Asuka: ^{なごや}名古屋の グループは、ちかくの えいがかんに、リサイクルのコップをすすめています。それから、レストランから ふるいオイルを もらって、キャンドルを つくって、キャンドルナイトをします。このグループが しょうをもらいました。

Keita: ほかのグループは かんきょうのクイズをつくって、ホームページにのせました。そのホームページは ケータイで 見ることができます。
それから、もう一つの グループは、ざっしを だしています。そのざっしの中で、ちきゅうと 人に やさしいアイデアを、たのしく かんたんにつめいしています。

Q3: なぜ、エココンのスタッフになりましたか。

Keita: 大学の外で、しゃかいのために 何か したかったからです。大学生が、大学生のコンテストを やっています。そして、コンテストのテーマは かんきょうもんだいです。おもしろいですね。

Asuka: 「わたしは かんきょうのために 何が できますか」と かんがえました。まず、 私の大学のサークルに入りました。そして、いま、大学の中のみせの レジぶくろを へらしています。でも、ほかの大学生や おとなの人と いっしょに もっと何かやりたかったです。だから、エココンのスタッフになりました。

Q4: エココンから、何をなりましたか。そして、これから何をしたいですか。

Keita: しゃかいのいろいろなことと いっしょに かんきょうもんだいを かんがえたいです。そして、いろいろな かつどうを したいです。

Asuka: わたしの思いを 人に ちゃんと つたえたいです。そして、わたしの小さい^{ちから}力がやくにたつ所で はたらきたいです。

(a place where my humble power can be useful)